

平成26年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成26年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者の総計は512件で、過去3位の報告数となった。
- ・HIV感染者報告数は、前年より56件増加して415件となり、過去3位の報告数となった。AIDS患者報告数は減少して97件であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約38%、AIDS患者が約21%であった。
- ・HIV感染者とAIDS患者の総計を国籍別、性別で見ると、日本国籍男性の割合が最も高く全体の約88%であった。
- ・推定感染経路では、HIV感染者の約91%、AIDS患者の約89%が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きい。
- ・年齢別にみると、HIV感染者は20歳代、30歳代の報告が多く、AIDS患者は30歳代、40歳代が多い。特に、HIV感染者の20歳代は148件で、前年より45件増加し、過去最高となった。
- ・推定感染地は、国内が約85%を占めた。
- ・ニューモシス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約58%を占めている。



相談・検査・療養体制

- ・平成26年のエイズ電話相談件数は、過去10年のうちで最も少なかった平成25年より、17%増加した。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談者は、性別では男性、年齢では20歳代と30歳代が多い。相談内容は、感染不安や感性経路に関するものが多い。
- ・平成26年のHIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに前年より増加し過去5年で最も多かった。また、陽性件数、陽性率は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所で前年よりも増加した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成26年はHIV感染者、AIDS患者累積報告数に対する手帳交付数の割合が、初めて8割を超えた。
- ・梅毒の陽性率は男性が高く、淋菌、クラミジアの陽性率は女性が高い。

本「AIDS News Letter No. 155（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成26年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV/エイズ電話相談」に名称変更している。

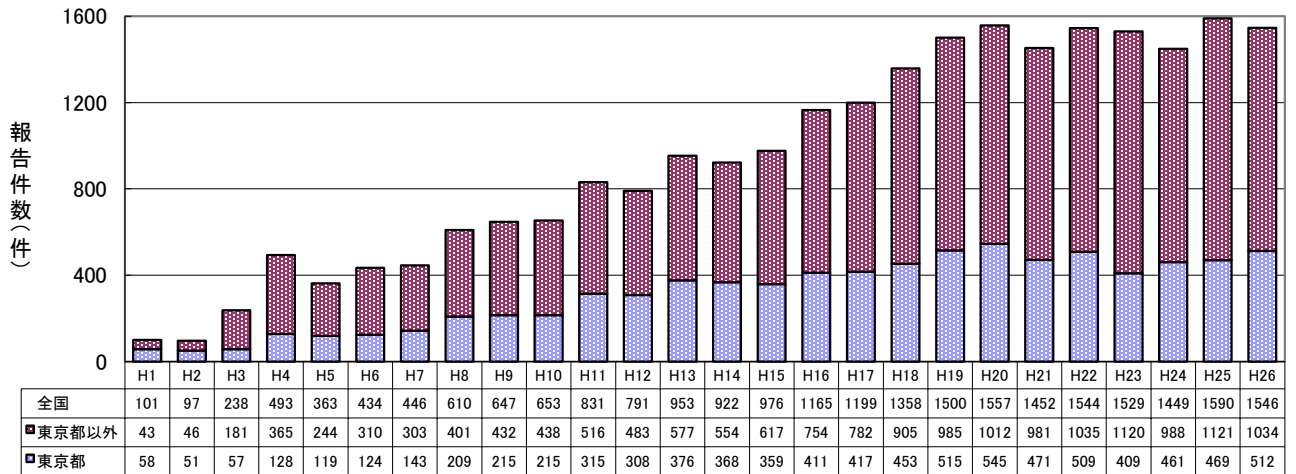
目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成26年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成26年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成26年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	エイズ電話相談	東京都のエイズ電話相談件数年次推移
	2-2	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成26年）
	2-3	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成26年）
P.11	2-4	エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（平成26年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成22年～平成26年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成26年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2013年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2014年末現在（厚生労働省）		

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

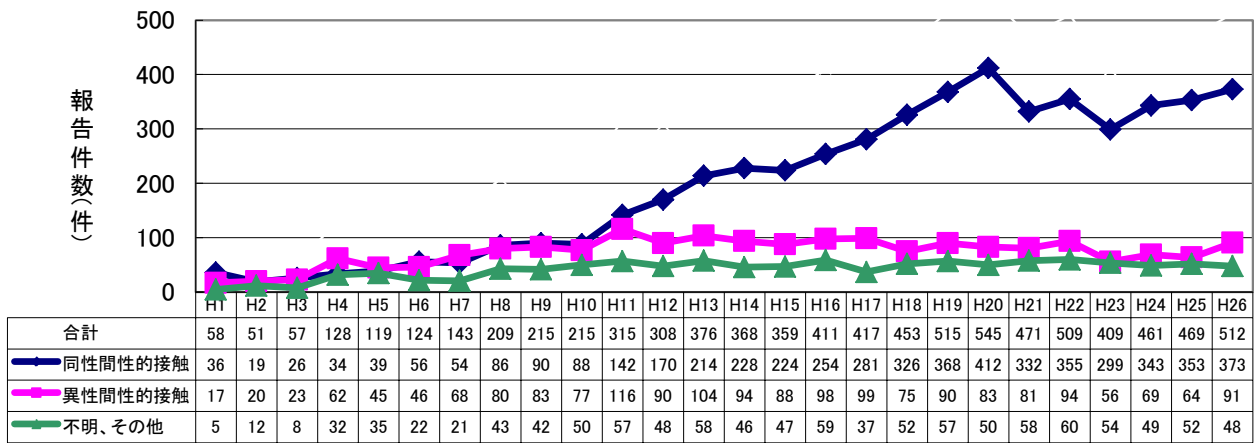
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1
東京都と全国の報告数
年次推移



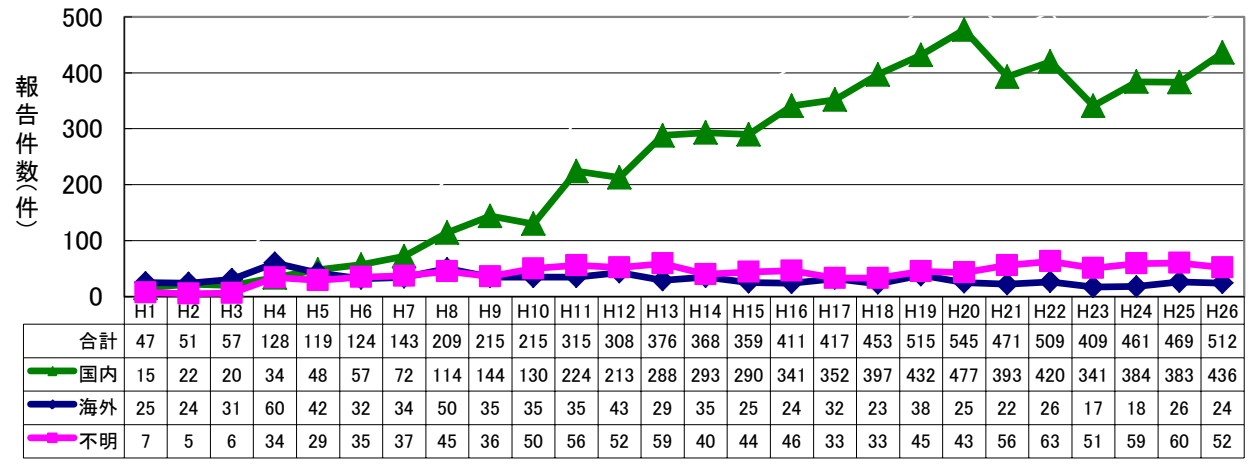
東京都は前年と比べ報告数が増加し、東京都以外は減少した。全国でも報告数は減少したが、前年に引き続き1500件を超え、過去3位であった。

1-2
東京都の推定感染経路別報告数
年次推移



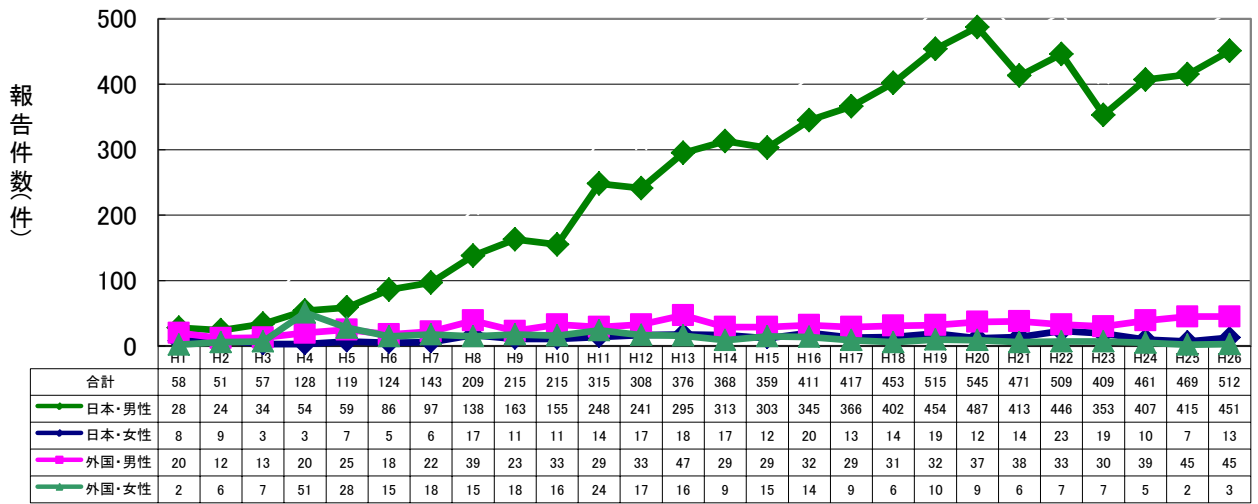
同性間性的接触による報告数は、平成23年以降増加傾向にあり、平成26年は過去2位であった。異性間性的接触による感染は、前年比で27件、42%増加した。

1-3
東京都の推定感染地別報告数
年次推移



国内の推定感染地別報告数は、前年と比べ53件増加し、過去2位であった。海外の推定感染地別報告数は、横ばいである。

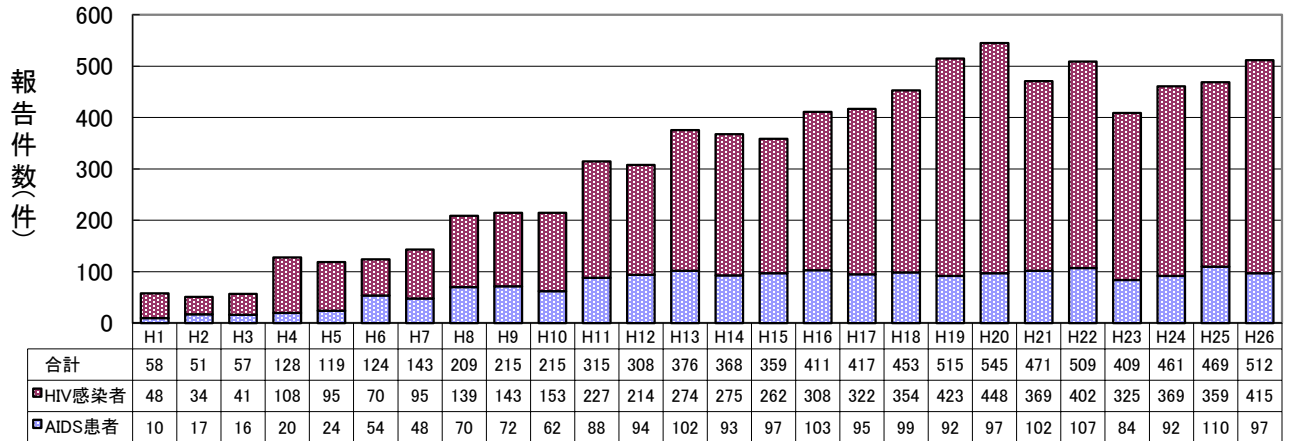
1-4
東京都の国籍別・性別報告数
年次推移



日本国籍男性の報告数は、平成23年以降増加傾向にあり、過去3位であった。外国籍男性は、前年と同数で40件を超え、過去2位であった。日本国籍女性及び外国籍女性は、横ばいである。

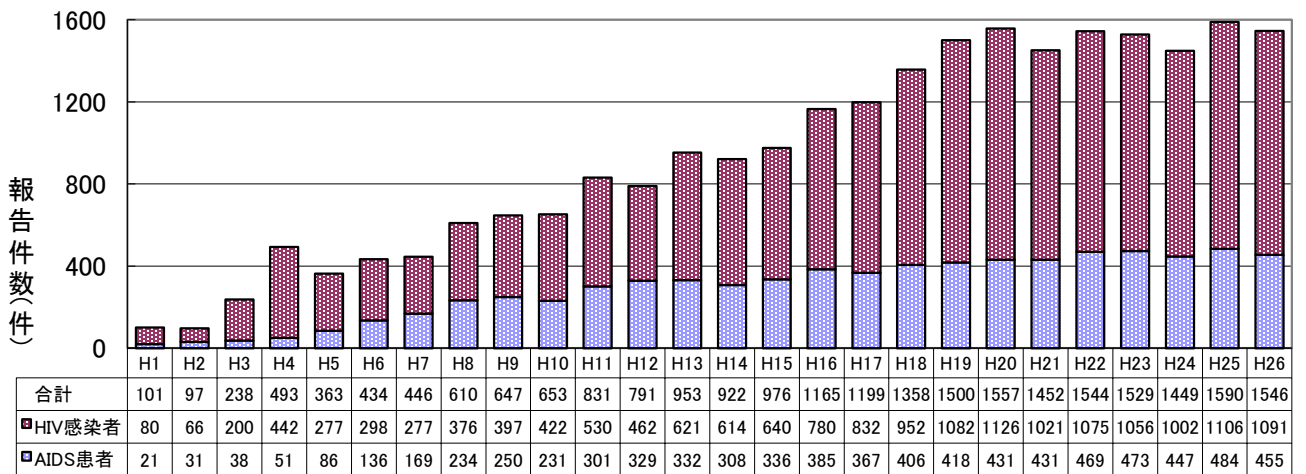
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数
年次推移



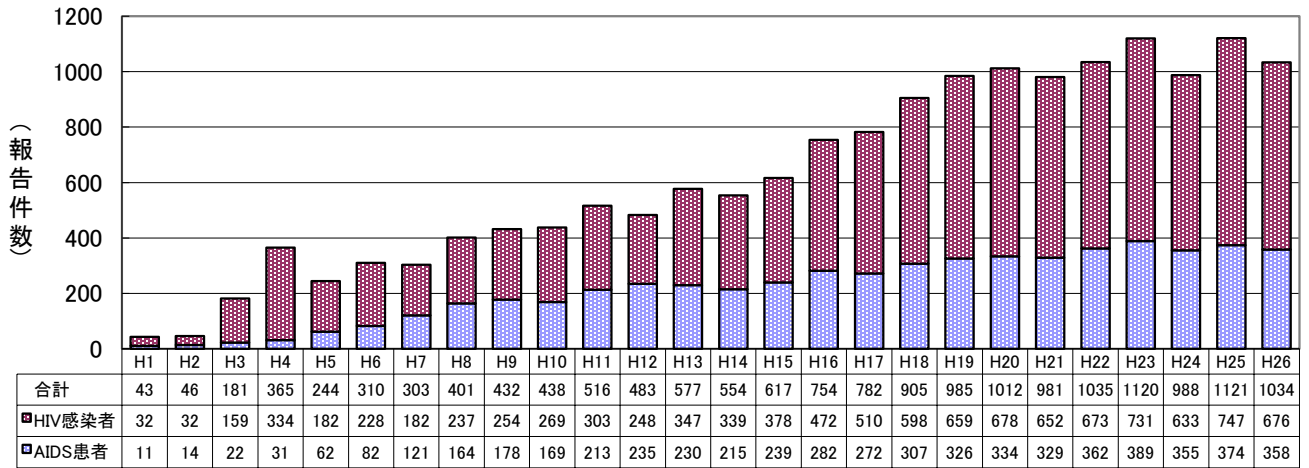
東京都におけるHIV感染者報告数は、前年に比べ56件増加し、過去3位であった。AIDS患者報告数は過去最多であった前年から減少し、100件を割った。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数
年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成19年以降1000~1100件程度で推移し、平成26年は過去3位であった。AIDS患者報告数は、前年から29件減少したが、報告総数の約3割を占める状況は続いている。

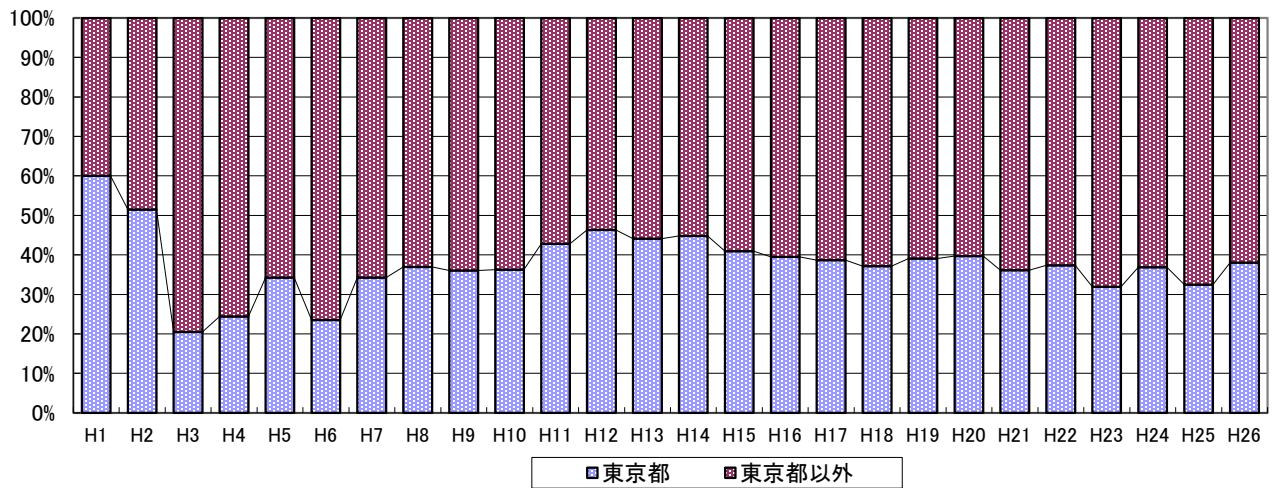
1-7
東京都以外の
HIV感染者とAIDS患者
報告数年次推移



東京都以外におけるHIV感染者報告数は、過去最多であった前年から71件減少した。AIDS患者報告数は、16件減少したが、近年は概ね横ばいの傾向にある。

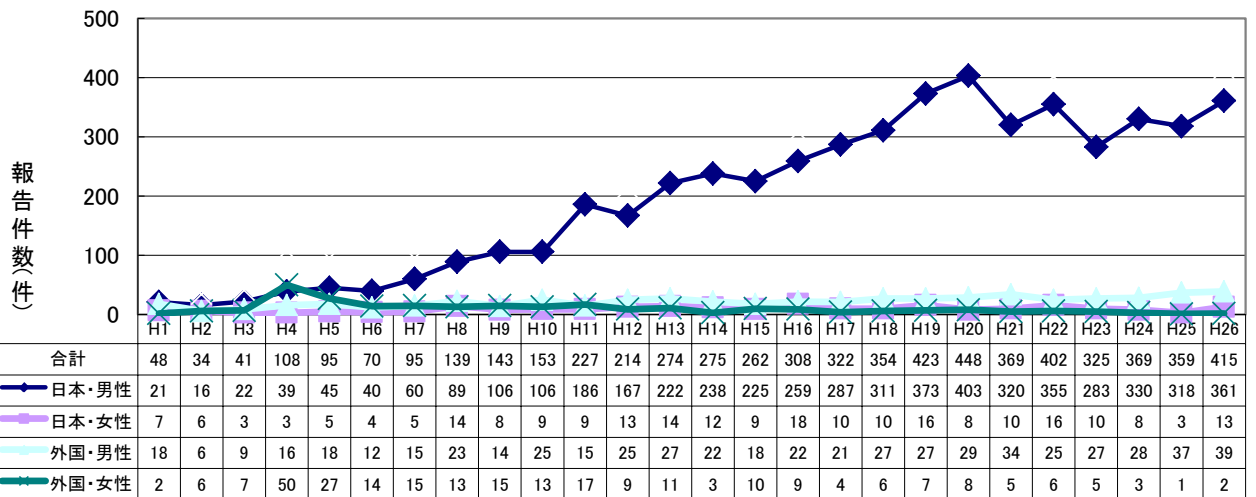
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



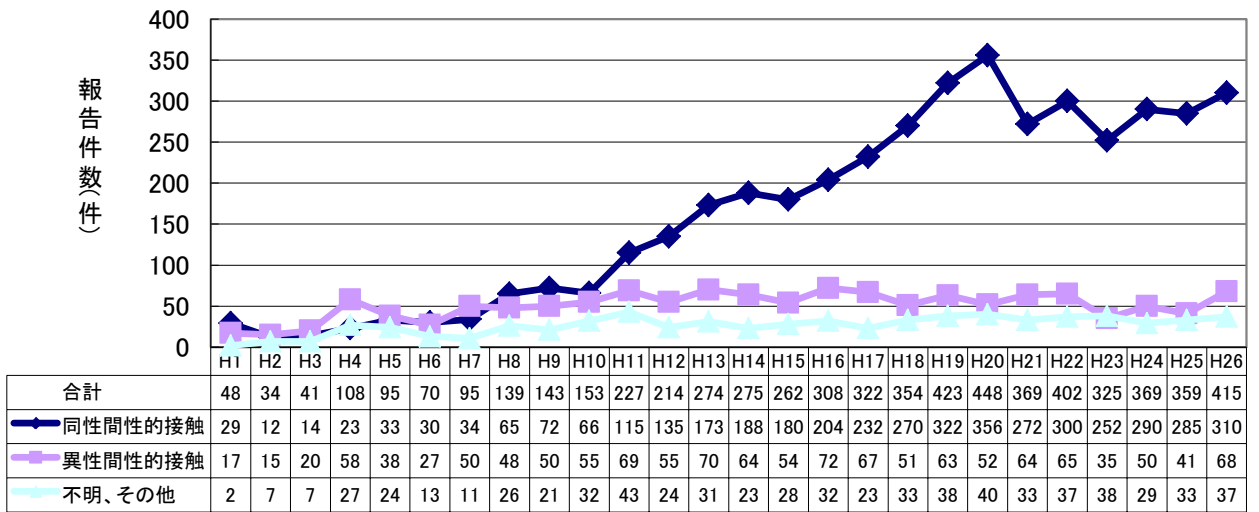
東京都のHIV感染者報告数は、平成16年以降、全国の報告数に対して3割台で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者
の国籍別・
性別報告数
年次推移



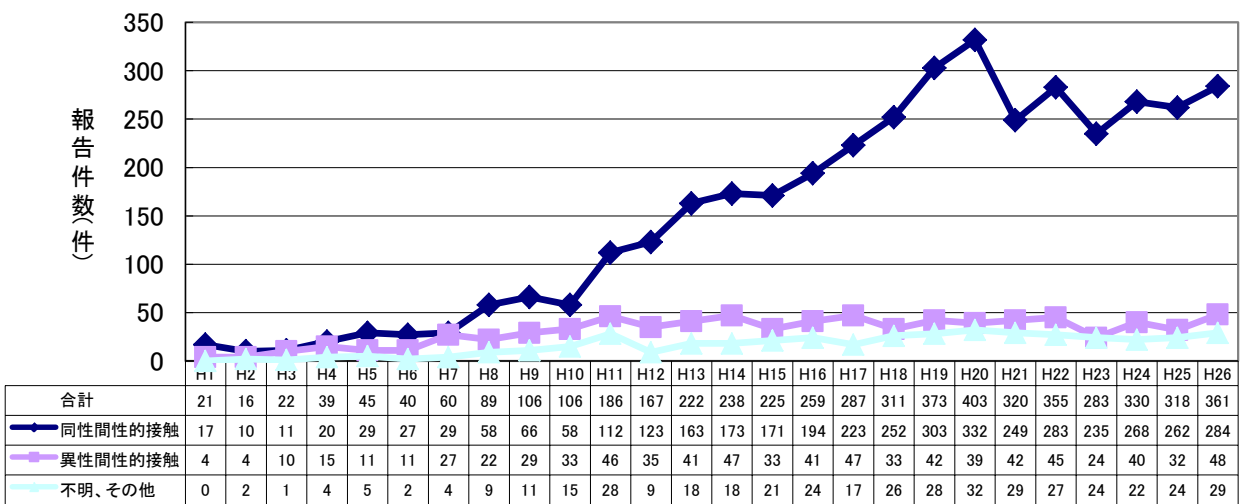
東京都のHIV感染者報告数における日本国籍男性は、前年から43件増加し、過去3位となった。外国籍男性は前年から2件増加し、過去最多であった。日本国籍女性及び外国籍女性は、概ね横ばい傾向が続いている。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



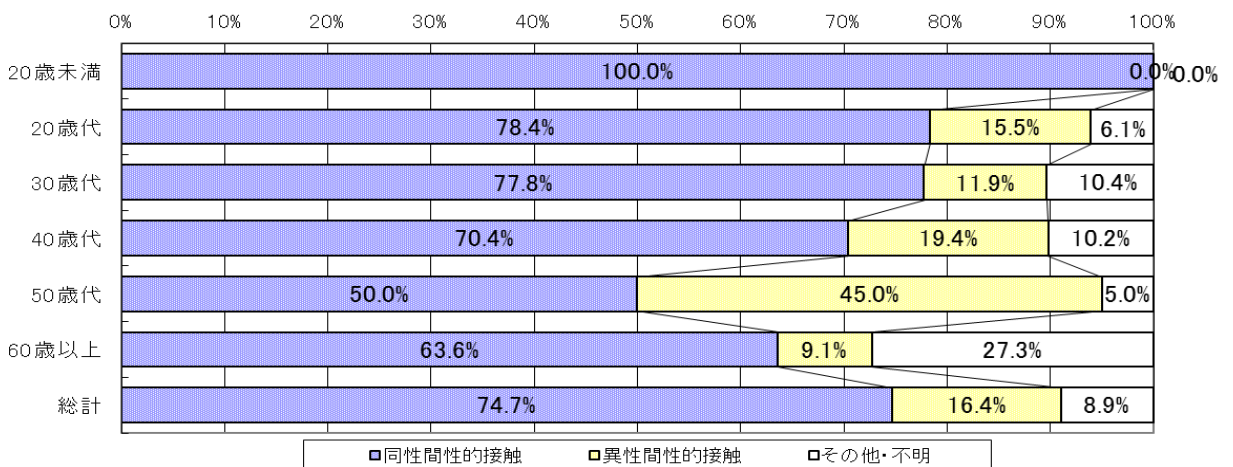
東京都のHIV感染者報告数における同性間性的接触は、過去3位で、約4分の3を占めている。異性間性的接触の報告数は、前年比で27件、約66%増加した。

1-11
東京都の日本
国籍男性
における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告



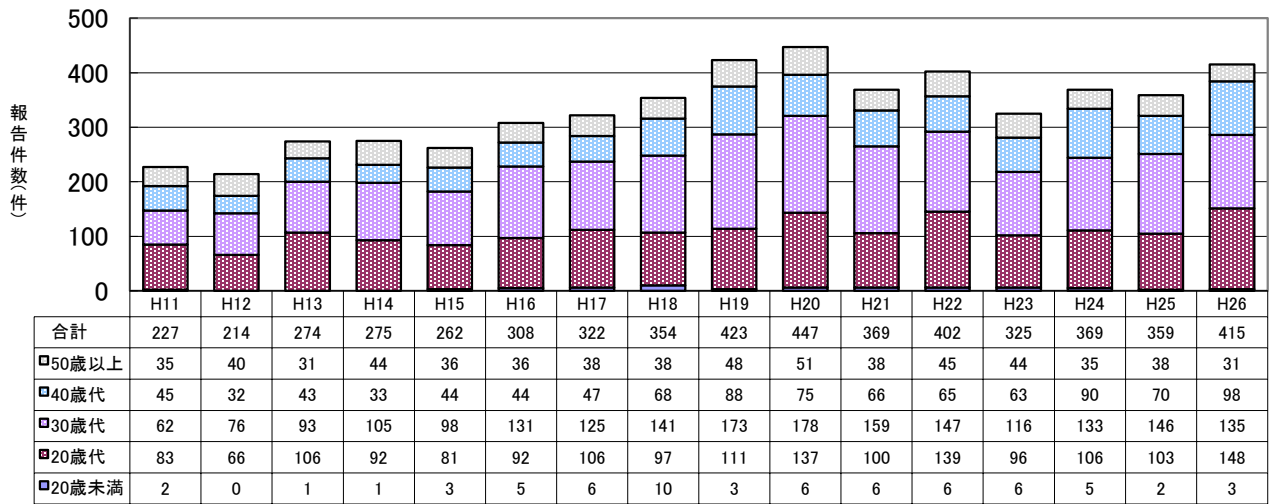
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性についてみると、同性間性的接触の報告数は過去3位で、約8割を占めている。異性間性的接触の報告数は、近年の増減を経て、平成26年は過去最多であった。

1-12
東京都のHIV
感染者の年
齢別・推定
感染経路別
報告割合
(平成26年)



東京都のHIV感染者報告数における同性間性的接触は、20歳代及び30歳代において80%弱と、高い割合を占めている。そのほかの年代をみると、40歳代では約70%、50歳代は50%、60歳以上は60%強を占めた。なお、20歳未満では、3件のHIV感染者報告があり、いずれも同性間性的接触であった。

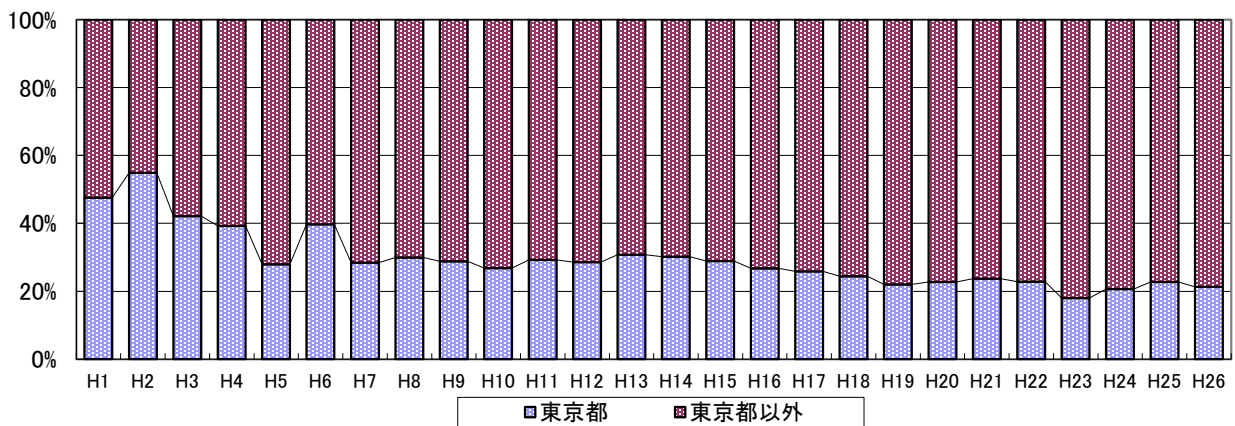
1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



20歳代、30歳代の報告数が多い傾向が続いている。特に20歳代は、前年から45件増加し、過去最大の報告数となった。また、40歳代も前年から28件増加し、過去最多となった。

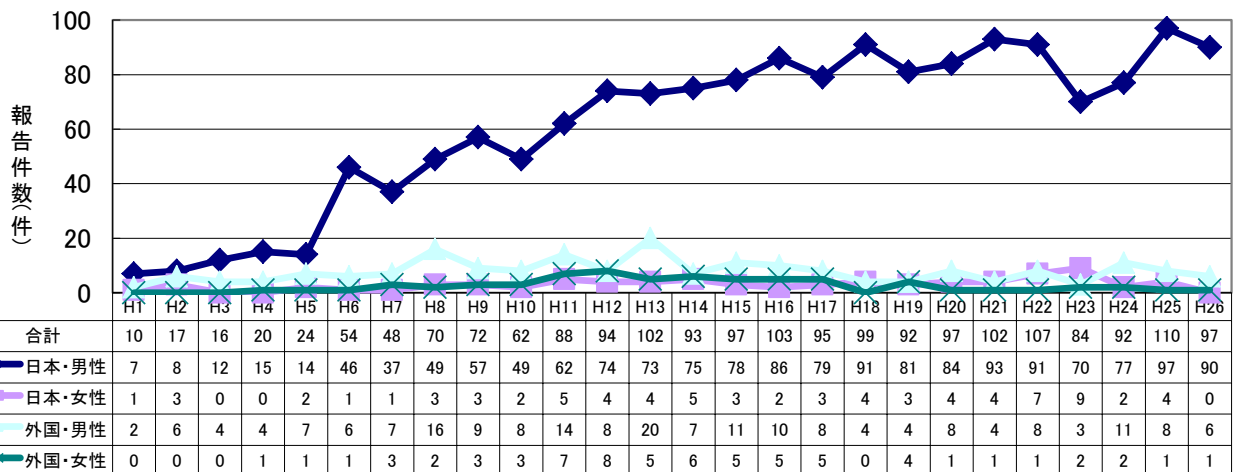
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占め
る東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



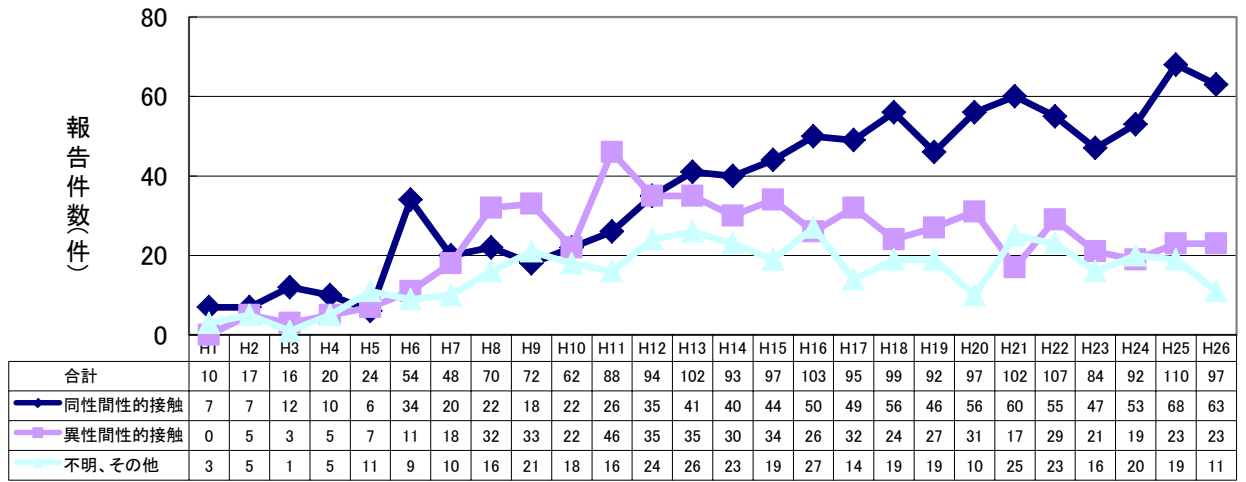
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の2割程度で推移している。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



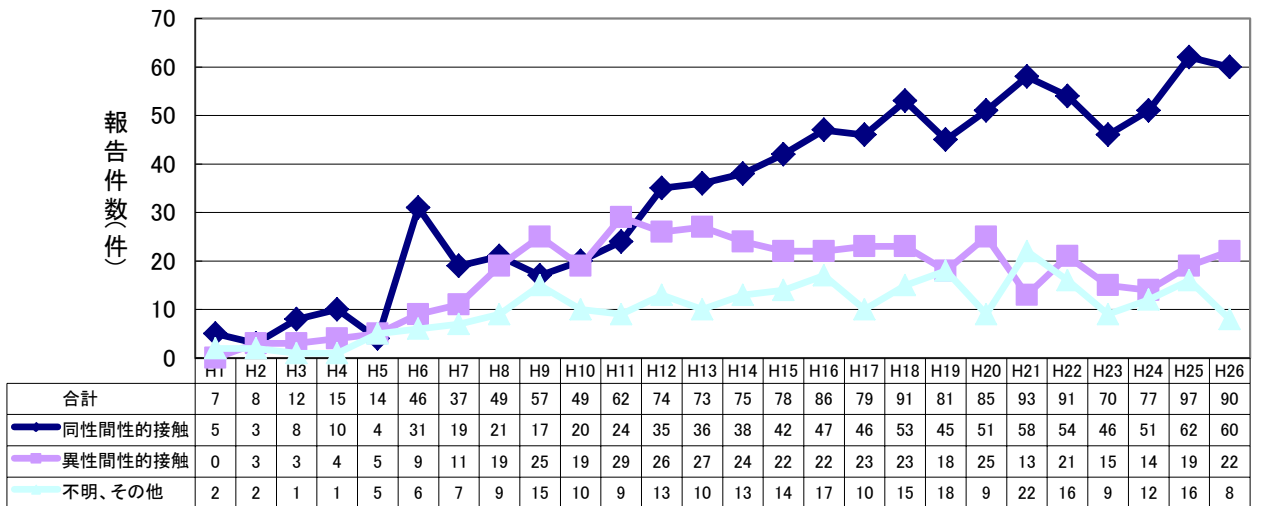
日本国籍男性の報告数は、過去最多であった前年から減少した。一方、日本国籍女性の報告数は、22年ぶりに0となった。外国籍男性及び女性の報告数は、近年、概ね一桁台で推移している。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



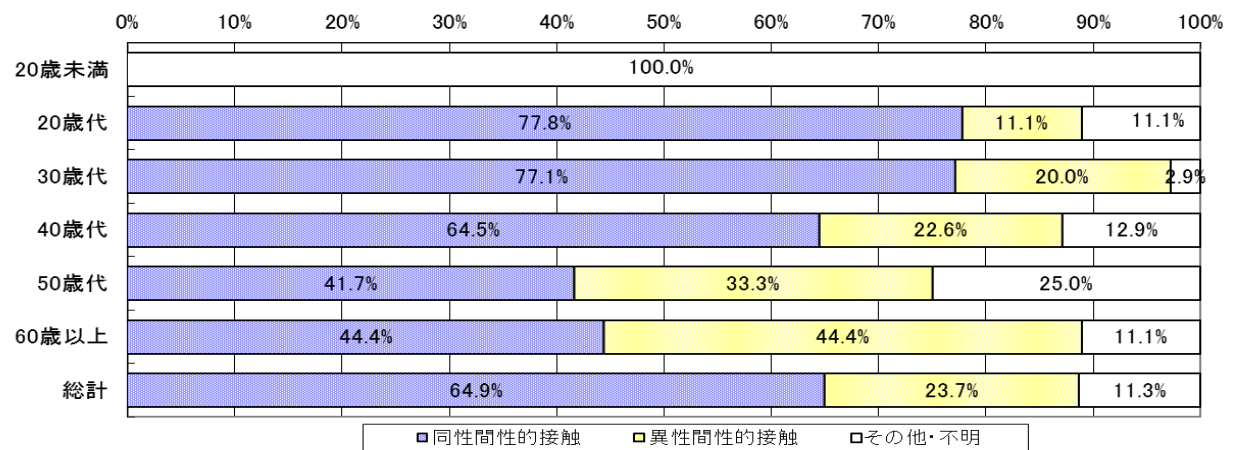
同性間性的接触の報告数は、過去最多であった前年から減少した。一方、異性間性的接触の報告数は、前年と同じ23件で、近年は横ばい傾向である。

1-17
東京都の日
本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数



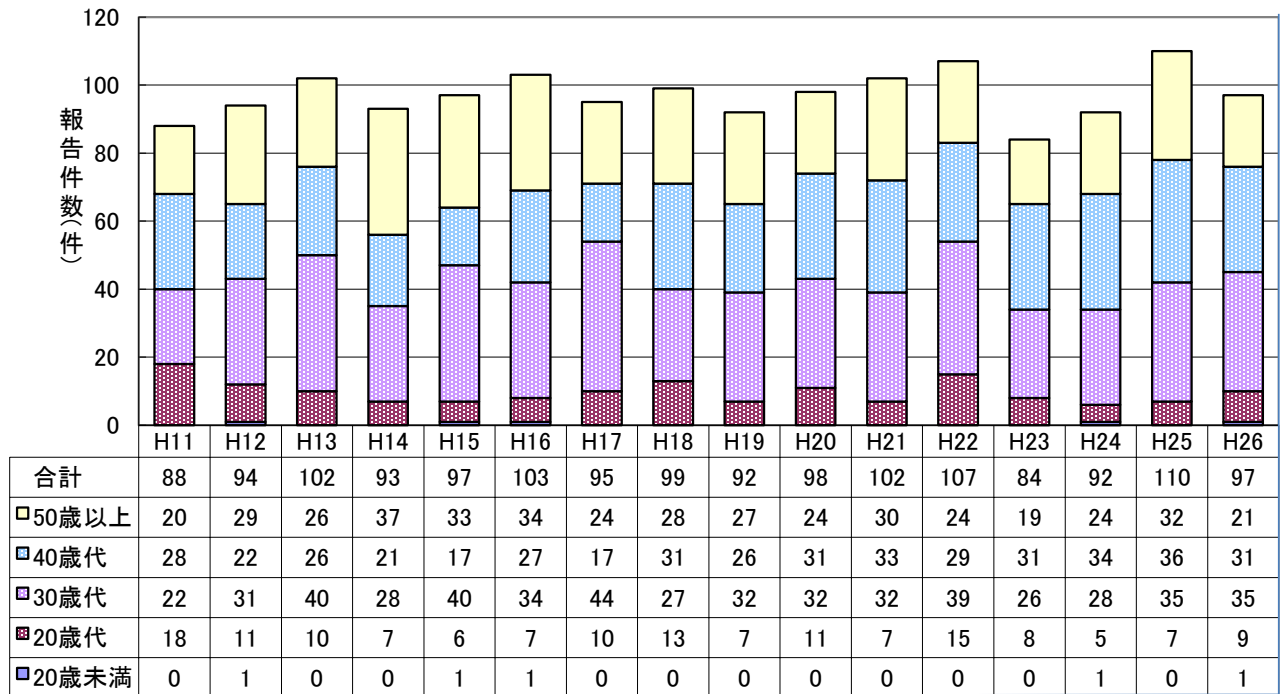
AIDS患者報告数の多い日本国籍男性についてみると、同性間性的接触の報告数は、過去最多であった前年から減少した。一方、異性間性的接触の報告数は10~20件台で推移している。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
(平成26年)



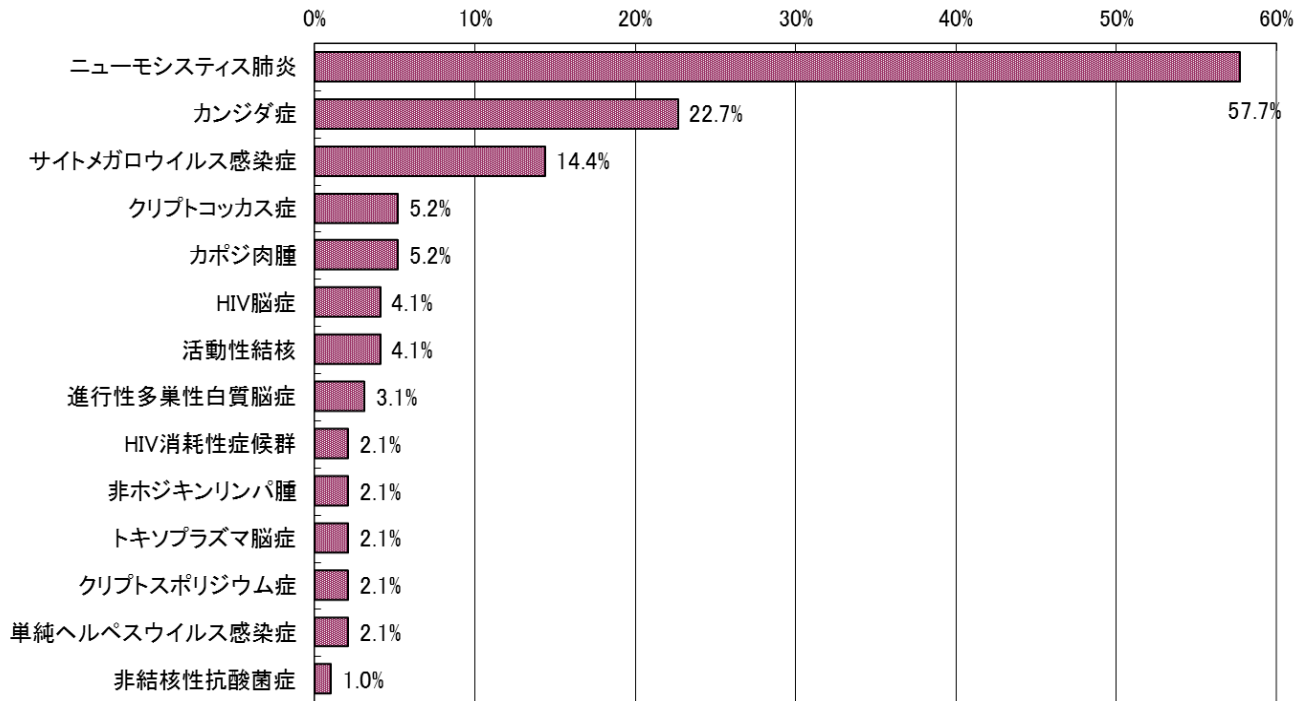
20歳未満及び60歳以上を除く全ての年代において、同性間性的接触の割合が異性間性的接触の割合を上回っている。60歳以上では、同性間性的接触と異性間性的接触の割合が同じであった。なお、20歳未満では、その他・不明の報告が1件であった。

1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



30歳以上の年代の報告数が多い傾向が続いている。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患
(平成26年)

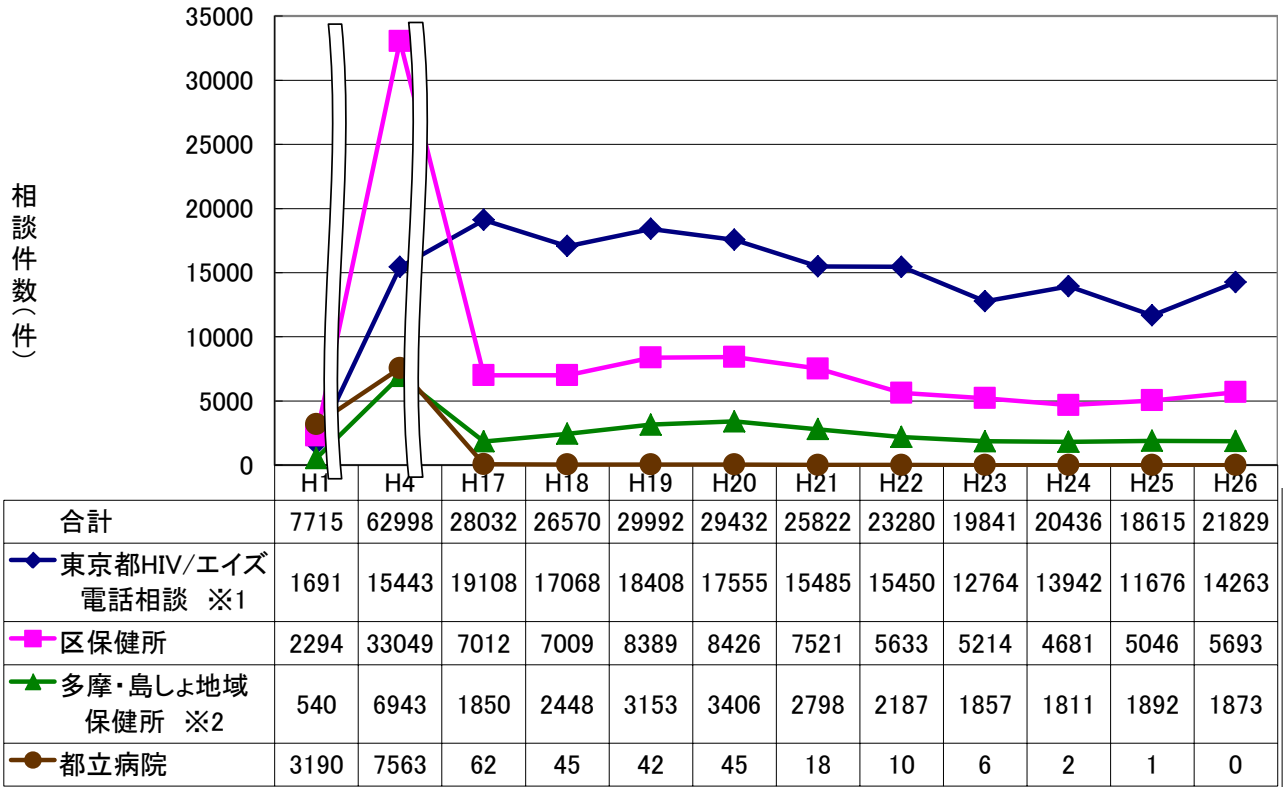


平成26年にAIDSと報告された患者の6割弱が、ニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断された。次いで、カンジダ症、サイトメガロウイルス感染症の順で診断されている。

2. 相談・検査・療養体制

[エイズ電話相談]

2-1
東京都HIV/
エイズ電話
相談件数年
次推移

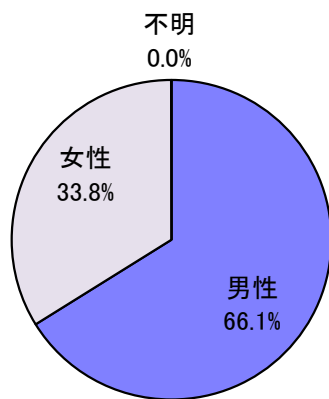


※1 平成10年以前の「東京都エイズ電話相談」件数には、エイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。
 ※2 八王子市(平成19年4月より)、町田市(平成23年4月より)は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていた。平成20年以降にやや減少した後、最近5年は2万件前後で横ばいの状況が続いている。平成26年は、東京都HIV/エイズ電話相談と区保健所で件数が増加し、合計では17%増加した。

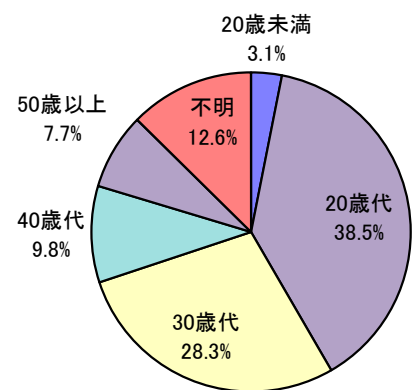
2-2
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の性別
(平成26年)

<2-2>



2-3
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の年齢
(平成26年)

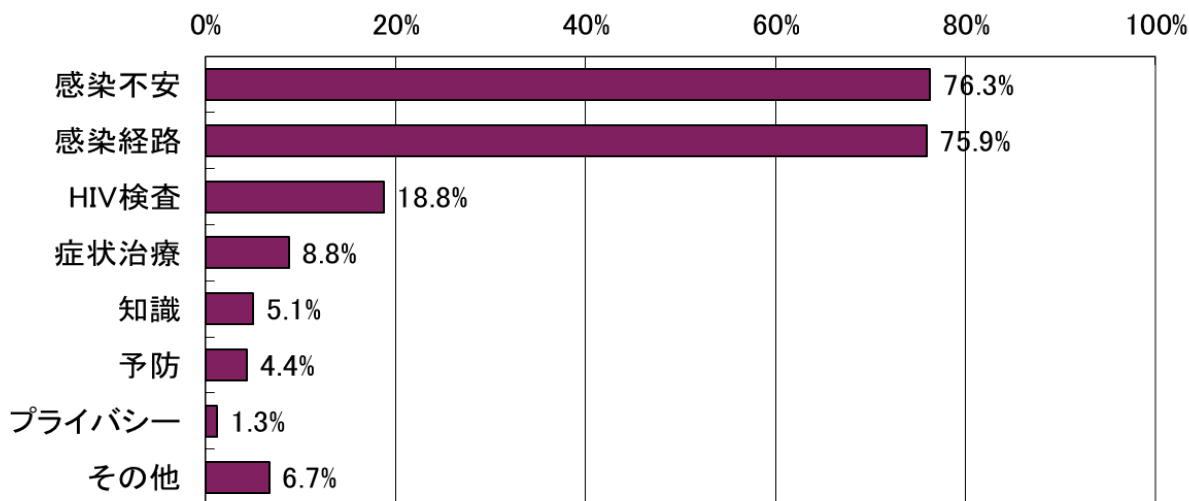
<2-3>



性別では、女性の相談が倍増し3割を超えた。年齢別に見ると、20歳代・30歳代が多い。30歳代以下の相談者が7割近くを占めており、ここ数年この傾向が続いている。

2-4
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
の相談内容
(平成26年)

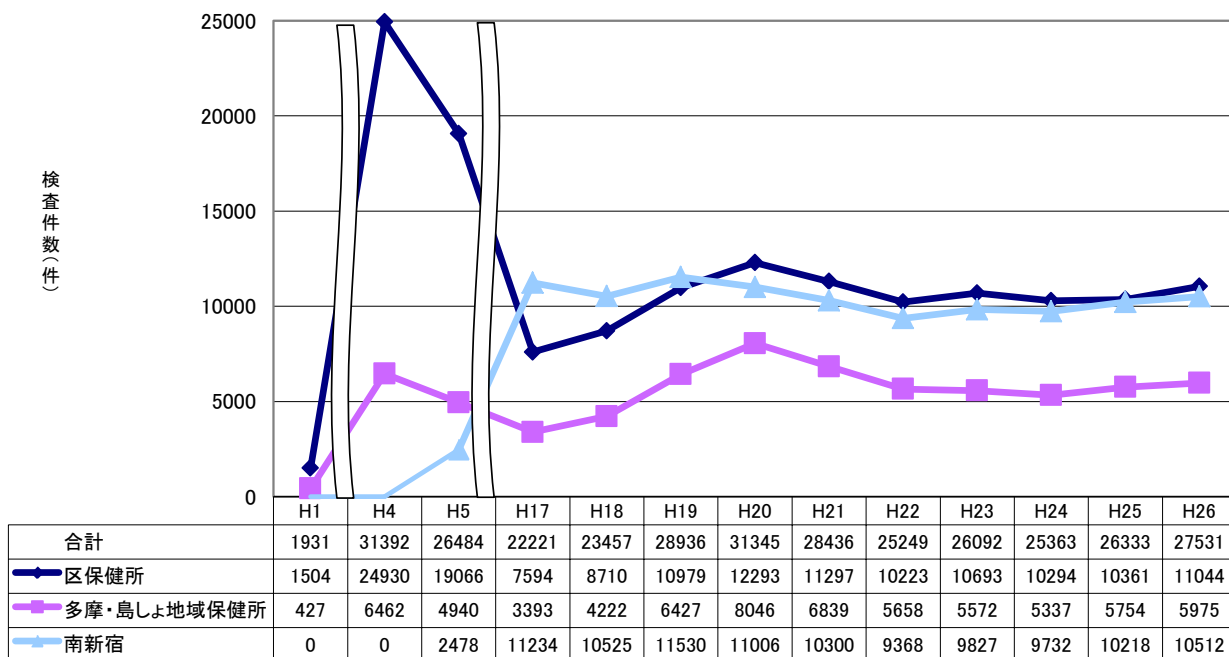
* 複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談の相談内容は、感染不安と感染経路の多い状況は、ここ数年変わっていない。なお、1回の電話で相談内容が多岐に渡ることもあるため、複数回答で計上している。

[HIV検査]

2-5
東京都の
HIV検査件
数年次推移



都内保健所(区保健所、多摩・島しょ地域保健所)の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、その後横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は再び増加していたが平成20年をピークに減少に転じ、平成22年からは横ばいで推移している。平成26年は前年より増加した。

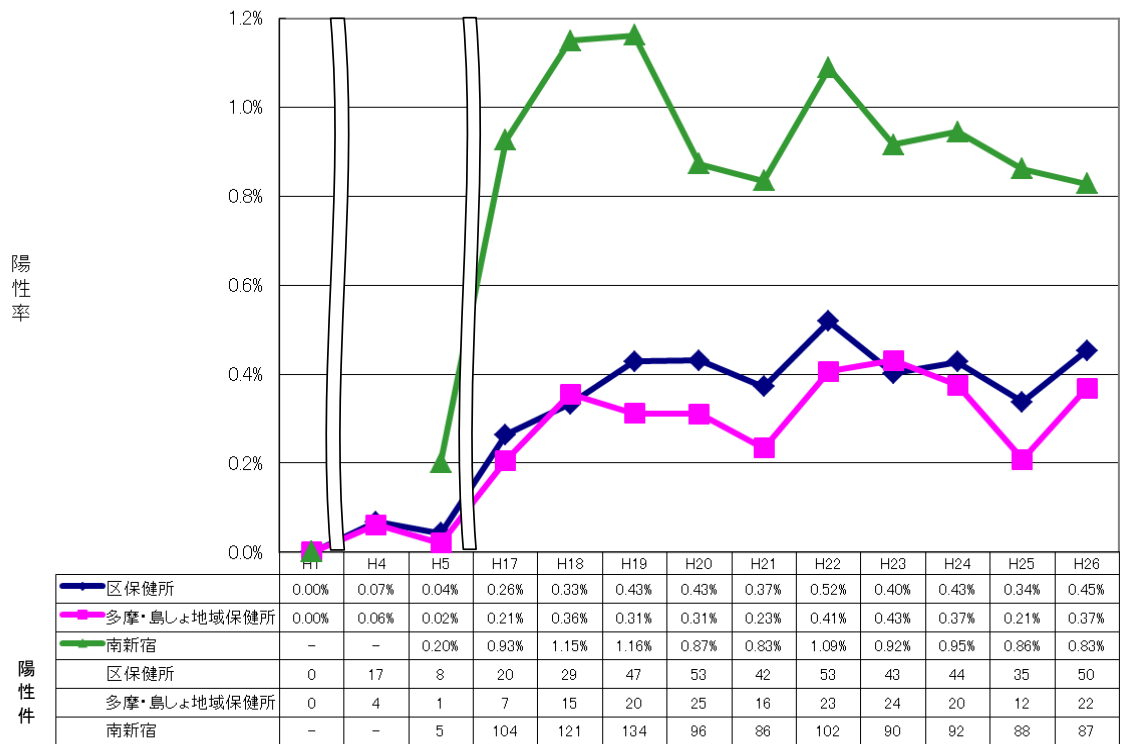
区保健所では、港区での委託検査開始(平成20年)などの動きもあり増加した後、平成21年より減少してからは、1万件台で推移している。平成26年は前年より増加した。

多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始(平成19年)、多摩地域検査・相談室の毎土曜日実施の定着により増加していたが、平成21年より減少に転じ、5千件台で推移していた。平成26年はわずかに増加した。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは1万1千件前後で推移していた。その後は、平成19年をピークに1万件前後で推移している。平成26年度はわずかに増加した。

平成26年の検査件数合計では、前年比約3%の増加であった。

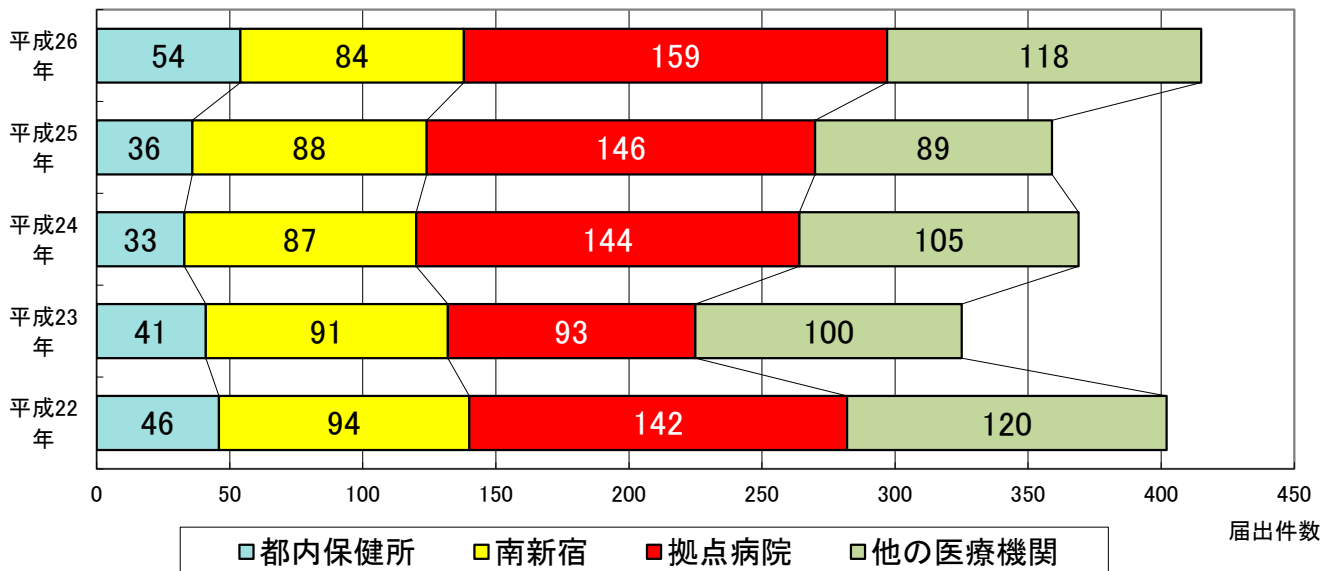
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



平成26年は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所で、陽性件数、陽性率ともに、前年と比べ増加した。

[医療機関]

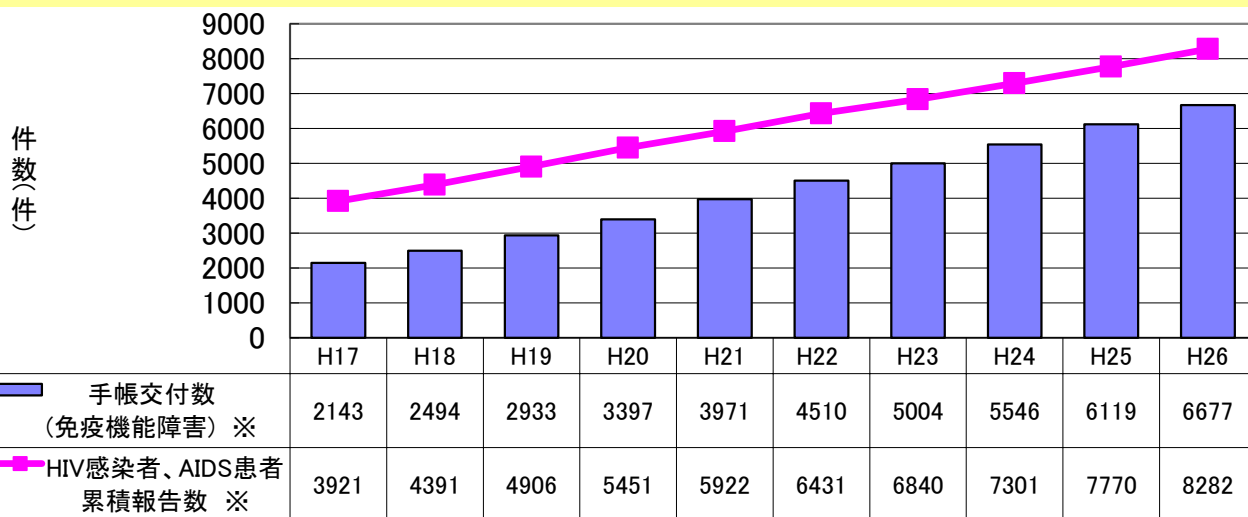
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成22年
～平成26
年)



平成26年は、南新宿検査・相談室および拠点病院からの届出件数は前年から横ばいであり、都内保健所および他の医療機関からの届出件数は増加した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
HIV感染者、AIDS患者
累積報告数と身体障害者手帳
(免疫機能障害)交付
数年次推移



※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成26年はHIV感染者、AIDS患者累積報告数に対する手帳交付数の割合が、初めて8割を超えた。

[性感染症検査]

2-9
東京都内の保健所、東京都南新宿
検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数
(平成26年)

		梅毒				淋菌		
		検査数(LA)	検査数(TPHA)	陽性数	陽性率(陽性数/LA)	検査数	陽性数	陽性率
区保健所	男	3,964	2,071	124	3.1%	932	2	0.2%
	女	2,278	1,191	6	0.3%	619	5	0.8%
多摩地域保健所	男	2,223	2,184	48	2.2%	2,104	9	0.4%
	女	1,122	1,099	10	0.9%	1,012	9	0.9%
南新宿	男	1,621	143	132	8.1%	-	-	-
	女	757	8	5	0.7%	-	-	-
合計	男	7,808	4,398	304	3.9%	3,036	11	0.4%
	女	4,157	2,298	21	0.5%	1,631	14	0.9%
		11,965	6,696	325	2.7%	4,667	25	0.5%

		クラミジア ※						
		検査数	陽性数(IgA)	陽性率(IgA)	陽性数(IgG)	陽性率(IgG)	陽性数(PCR)	陽性率(PCR)
区保健所	男	4,328	204	4.7%	295	6.8%	93	2.1%
	女	2,347	162	6.9%	254	10.8%	105	4.5%
多摩地域保健所	男	2,106	-	-	-	-	57	2.7%
	女	1,013	-	-	-	-	83	8.2%
南新宿	男	1,620	92	5.7%	151	9.3%	-	-
	女	754	88	11.7%	119	15.8%	-	-
合計	男	8,054	296	3.7%	446	5.5%	150	1.9%
	女	4,114	250	6.1%	373	9.1%	188	4.6%
		12,168	546	4.5%	819	6.7%	338	2.8%

※平成25年4月より、多摩地域保健所のクラミジア検査は抗体検査(IgA、IgG)から病原体検査(PCR)に変更

梅毒の陽性率は男性が高く、淋菌、クラミジアの陽性率は女性が高い。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2014年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2014年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,690万人 (3,430-4,140 万人)

HIV感染者報告の累計数

16,903人

2013年における新規HIV 感染者数 (推計値)

200万人 (190-220 万人)

AIDS患者報告の累計数

7,658人

2013年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

120万人 (100-150 万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査(匿名・無料・電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午後3時30分から午後7時まで

土・日(祝日を除く)：午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査(匿名・無料・予約制及び先着順)

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前10時

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金：午前9時から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで)

※エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ(一部性感感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp